

令和8年度 丘珠中学校 「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：33011

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実 態	課 題
◇学校評価の回答データより 質問事項：「授業がわかりやすい。」「授業が楽しい。」と思う。 <u>生徒の肯定的回答 89.2%</u> 各教科の教材研究や導入の仕方の工夫など各教科の授業改善の努力と ICT 活用の推進により生徒の関心・意欲を高める取組ができたと考える。	◇学校評価の回答データより 質問事項：お子さまは、「授業がわかりやすい。」「授業が楽しい。」と言っている。 <u>保護者の肯定的回答 68.2%</u> 生徒の肯定的回答結果との大きな差が見られる。その他の学習に関する質問に対する保護者の肯定的回答は8割を超えている。今後も子どもが「わかる」「できる」「楽しい」と実感できるように授業改善を継続するとともに、学習活動の様子や状況が家庭に伝わる取組を工夫する。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇全校生徒を対象に行った校内アンケートにおいて、授業で行った協働的な学習に対しては、肯定的な回答が多く見られたが、相互承認の感度として「自身がどれだけその学習内容について協働的な学習から理解を得られ自身のその先の学習につなげることができているか」という質問への肯定的な回答は少なく、授業内容や学習活動を家庭学習に結び付けることが課題となった。この結果から、メタ認知を高めるための自己の振り返りと「自己承認・他者への承認・他者からの承認」を行う協働的な学習活動づくりをすることで、家庭学習などでの主体的な学びにつなげることが本年度の課題と考える。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
リフレクション（振り返り）を活かして、主体的に学習に取り組む力	
取 組	課 題
課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
(1)イントロダクション（導入）で、子どもが学びの見通しをもちやすくするための事象や教材の工夫。 (2)リフレクション（振り返り）を通して、自分の『成長』を実感し、次の課題解決に対して積極的な姿勢をもつための指導の工夫。	①学年内はもちろん、他学年との交流を通して、よりよい集団、よりよい学校づくりについて考えることができる機会の創出。 ②学校行事や生徒会活動におけるリフレクション（振り返り）を通し、個人や集団の良さに気付くことができる機会の創出。
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
◇教員同士そして教員と生徒との学びの過程までも「共有」できるツールとして ICT 活用を今後も推進していく。	

＜本プログラムの実行に向けて＞

新年度	【一人一人の教職員】	【学校全体】	次年度へ
◇全職員での確認と共有 ・職員会議 ・校内研修会 ・パートナー校研修会	◇日常の教材研究と授業改善 ◇充実した学級活動の計画と推進 ◇教職員個人の研修会等への参加	◇校内研修会（評価と学習活動） ◇全校共通の取組（学習計画表と振り返りシートの活用）	◇成果と課題の確認と共有 ◇より効果的な学習活動の検討 ◇プログラムの検討・作成